

有限会社ライス秋田様による「SDGs宣言」策定について

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、グループ会社である株式会社あきぎんリサーチ&コンサルティング（代表取締役社長 石川 聡）を通じて「〈あきぎん〉SDGs経営支援サービス」をご提供しております。

今般、本サービスを利用し、有限会社ライス秋田様が「SDGs宣言」を策定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行グループは、地域におけるSDGsの達成に向けた取組みを支援し、持続可能な地域社会の実現に取り組んでまいります。

記

【会社概要】

| | |
|---------------------|---|
| 会社名 | 有限会社ライス秋田 |
| 所在地 | 南秋田郡大潟村字南1丁目59-9 |
| 代表者 | 代表取締役 村崎 大和 |
| 業種 | 米卸売業 |
| 企業紹介 | 大潟村で創業以来、「安心」「安全」なお米作りに励み、商品のお届けや地域の生産者との販売により、地域の活性化に努めております。 今後も環境に配慮した農業を通じて、持続可能な明るい未来の実現に向けて取り組んでまいります。 |
| SDGsへの取組み (別紙参照) | ○顧客の声をサービスに反映させる体制の構築 ○女性活躍優良企業の認定取得（えるぼし認定取得等） ○自社取扱品のふるさと納税返礼品への活用を通じた地域情報の全国への発信 等 |

(以上)

SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030年までに解決すべき世界的優先課題17目標と目標を達成するための169のターゲットが示されています。





有限会社ライス秋田 SDGs宣言

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

『安心』『安全』を心掛けてお客様の元へ

大潟村で創業以来、生産者としてお客様へ直接『安心』『安全』な商品をお届けし、また、地域の生産者仲間と共に販売にも取り組み地域活性を目標に歩んでまいりました。

さらに、社内の声を把握し、一体感のある経営で製品・サービスを向上させ、環境に配慮する農業を通じて持続可能な明るい未来の実現に向けて取り組んでまいります。

2022年12月 代表取締役 村崎 大和

SDGsの達成に向けた取り組み

環境へ配慮したサービスと品質の向上

自然由来の資材を用い環境に配慮した商品の提供と生産を行い、社会から認められる顧客満足度の高い経営を目指します。

具体的な取り組み

顧客の声をサービスに反映させる体制の構築／再生可能原料の使用による水質改善及び土壌汚染の減少・生態系の保護及び回復・廃棄物発生防止及び削減／有機肥料の利用による生産に使用した水の富栄養化防止／水の富栄養化を原因とした赤潮発生防止／充電式フォークリフト使用率向上による排気ガスを抑制したグリーンな向上の維持



風通しの良い社内環境づくり

一体感のある経営を目指して、社員の声を積極的に収集のうえ活用し、改善・検討を通して経営品質と人財の向上を目指します。

具体的な取り組み

会社内における積極的な対話の促進／社員からの提案等の積極的な汲みあげ／資格取得費用の補助、資格手当付与制度の整備



人材の多様性の尊重

会社全体として人材の多様性を尊重し合い、性別に関係なく平等に職務上の機会を得ることができる社内環境の整備に取り組めます。

具体的な取り組み

社員が働きやすい福利厚生制度の構築／女性管理職登用のための制度構築／女性活躍優良企業の認定取得（えるぼし認定取得等）



地域社会への貢献

事業活動を通じて、大潟村の特産物であるお米を全国にお届けすることによって地域活性化に貢献します。また、地域の文化・風習・行事に積極的に参加し地域社会から必要とされる企業を目指します。

具体的な取り組み

地域で取り組んでいる再生可能エネルギー事業への支援／地域教育機関からのインターンシップの受け入れによる人と組織の関係強化／自社取扱品のふるさと納税返礼品への活用を通じた地域情報の全国への発信



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。